

ひと一人の個性が輝く

# 認定NPO法人 十人十色

幸せはどこからやってくる!?

2021年新春号

とらろ通信

Vol.44

1月14日発行

新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願  
いたします。色々制約される大変な時代になってしまいました。  
身近な方も亡くなり、生と死について考えさせられる日々です。  
生も死もすぐ隣にあるのです。死は決して終わりではないこと  
も学びました。命に寄り添い生きている  
ことを再認識させられることが多くなりました。

そしてこんな時代だからこそ、あれもできない、これもできないとストレスためず、できることをする。【今を生きる】

【今を楽しむ】ことが大切だと教えられます。いろんなマスクで楽しむ。リモート会議は、スキルアップであり、一歩前進なのだとわくわくすること。

命が喜ぶって、一瞬一瞬を楽しむ。わくわくすることの連続じゃないかしら？ 目の前の花に感動したり、今日の雪を喜んだり…。

何もなくてもとりあえず、「ありがとう」と言ってみる。「うれしいな」と言ってみる。すると、言霊が私を支配してそんな気分になってしまう。幸せになってしまう。せっかくだから幸せになっちゃえ！

認定NPO法人十人十色理事長

岸本美鈴



ホームよっころしよのみんなと  
鹿の子集落 とんど に参加

# よっこらしょ 456

グループホーム  
知的、精神の手帳がある方



## ホームの休日

～ふわふわホットケーキを焼こう体験談～

ふわふわは簡単なようで難しい。  
ふくらまないホットケーキは悲しいね。と  
ホーム女性利用者4名と挑戦。  
ホットケーキミックス、卵、牛乳 プラス  
コツ？ポイント？  
混ぜすぎはダメ！  
ダマはそのままにして焼く。  
本当に工夫で、ふわふわホットケーキがきれいに  
焼けました。  
男性利用者さんの分も焼いて、コーヒーをお供  
に心もふわふわのおやつタイムでした。



サンドウィッチも作ったよ！  
パンにのせるチーズをはさんで  
トースターで焼いて  
チーズがトロツとならず…笑

文：長友久美子





# なんやこの 作業所

就労継続支援B型事業

★働く、内職、農業など

生活介護事業

★アート、ラジオ体操など訓練・リハビリ



大豆を収穫して干して脱穀。  
今年も良い大豆がたくさん収穫  
出来ました。  
選別が終わったら味噌作りが始  
まります。



秋冬白ネギもいよいよ出荷のシーズン。  
今年はいい出来なので収穫にも気合が入る！  
と、思っていた矢先に大雪が・・・  
葉が折れたり曲がったりで出荷出来なくなった  
ものが多そうです。

文：岸本一平



# ちゃんちゃん

小規模多機能型居宅介護  
介護予防小規模多機能型居宅介護

「ちゃんちゃん」は、近隣の高齢者の方に利用して頂いています。宿泊の方、通いの方、訪問の方…それぞれの利用者さんに合ったサービスを提供しています。

久しぶりの現場で感動

ちゃんちゃんには、入院した後ご利用になる方が多いです。生きる意欲を失って投げやりになってしまわれている方もあります。でもそんなとき、得意だったものに向かう意欲が出てくる瞬間があります。命がいきいきと輝く瞬間です。

「ピアノを弾いた!!」「神棚の飾りを作成」「碁」「歌」…。昔、得意だったことは、懐かしむだけでなく、瞬間的に人をその時代に連れていく魔法があるようです。一瞬だけど、顔が生き生きとその時代の顔に戻るのです。私たちはその顔に出会えるのが楽しくて、今日も、現場に立つのです。

岸本美鈴



Uさんの87歳の誕生日会をしました。

職員からレイを首にかけられ皆でハッピーバースデーの歌を歌った後にケーキを頂きました。皆から祝福を受けると「ありがとね」と言ってお礼を言われ「おいしいわ」とケーキを食べられていました。Uさんこれからも元気で長生きして楽しく過ごしてくださいね。

2020年は新型コロナウイルスの影響で、利用者さんはもとより、ご家族や職員も感染しないようにと気を付けなければいけない年でした。2021年は少しでも状況がよくなり明るい希望の見える年になる様、願ってやみません。本年もよろしくお願い申し上げます。

ちゃんちゃん職員一同

文：蓮佛尚也



## ごてえよつぺてえアート

今年のごてえよつぺてえアート展は新型コロナの影響により、用瀬社バス停前の古民家「はっちゃん家」の畳の大広間で行いました。

ふすまを開けるとワー！と歓声を上げる来客。

これは大勢の方に見てもらわなくてはと「ぴよんぴよんネット」（ケーブルテレビ）に連絡して下さった方。放映を見てのお客様。

いつもお世話になっているあいサポート・アート鳥取、くらしミュージアム無心の館長 田村様、夏のかがやき展に毎年お声をかけていただいている渡辺美術館 石谷様。

地域の方々等々思わぬ方々が来ていただき、うれしい評価も頂きました。

アンケートの一部を紹介させていただきます。

用瀬小学校の2年生が「まちたんけん」でアート展に来てくれました。なんと“2億円”の値をつけてくれた作品も！！



古民家「はっちゃん家」のとても良い効果は皆さんゆっくりとひとつひとつの作品を座って見て頂き30分～1時間くつろいで「来てよかった」と言って頂けたことです。

お陰様で 11/24(火)～28(土)の展示日程が12/4(月)まで好評により延長もさせて頂きました。

### アート展示会感想アンケートから

- ◆素敵な作品に感動しました。発想がいいですね。次の作品を楽しみにしています。
- ◆ひとりひとりの作品に命が吹き込まれている感じがしました。
- ◆圧巻でした！根気のいる作業だと思います。元気を頂きました。
- ◆工夫をしたアート、楽しく鑑賞しました。
- ◆日ごろのアート活動が思いがけない発想で様々なアートに変身しているのに思わず凄い！と声が出ました。製作している皆さんの作品に感動しました。
- ◆ペットボトルのキャップやアルミホイルのこより、廃材を使っている作品に変身させて、自分でも作りたいと思った良い展示会でした。

文：長友久美子



令和2年度鳥取県障がい者芸術・文化作品展

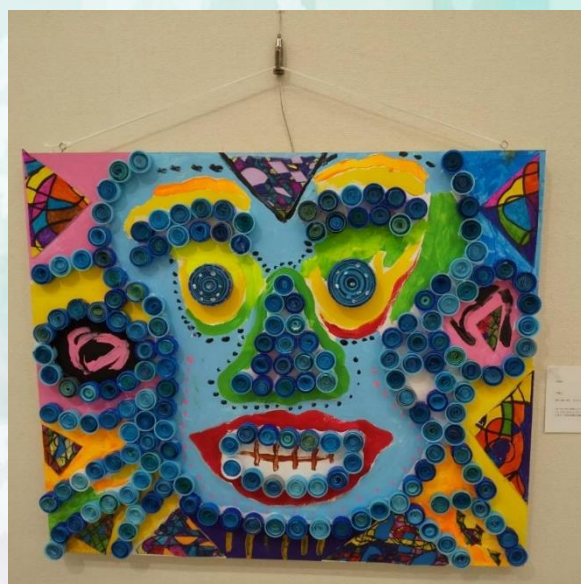
## あいサポート・アートとっとり展

あいサポート・アートとっとり展が米子市美術館で開催されました。

私は昨年もしみながら鑑賞し、今年はどうな作品に出合えるかと出かけました。

パンフレット片手に真っ先に「東部 美術部門 立体造形」の前に立ちました。

あった、会った。浜田聡作「ぼくサトル」作品には描かれていなかったけれど、サト君のお坊さんのような頭が浮かぶような画板いっぱい広がるサト君の世界。ユーモラスな作品の口元を観ると笑っている。耳はよく聞こえる大きな耳。サト君、にこにこ、いや、もしかしたらニヤニヤしながら自画像に取り組んだかと思った、思わず「クスッ」と笑いがこぼれました。



『ギョ魚ギョ』は  
佳作を受賞しました！

次の作品は、深い海の魚。岸本拓也作 カラフル深海魚『ギョ魚ギョ』

私は拓也君を「師匠」と呼んでいます。拓也君との出会いは、十人十色の割りばしに貼る小さなシールはがしでした。

私がシール剥がしに手こずり四苦八苦しているその横で何とも軽やか、いとも簡単に次から次へと割りばしいれにピタピタとシールを張る姿に、思わず「師匠、どうしたらそんなに剥がせるの？教えてください。」そうしたら、拓也君は「シールがここだと剥がす場所を教えてくれる」と。深いと納得しました。

そして今回の作品がまた深い。深い海の底、カラフルな魚が登場。名前は「ギョ魚ギョ」。カレイのような形の背中に真っ赤な絨毯を敷き詰め、コーンのようなカラフルアンテナをいっぱい張ってなんと楽しそう。これからお散歩かな、ギョ魚会かな。師匠、どこに行かれますか!!

コロナ禍が終息したらみんなでお茶会しましょう。じゃあ、またね。

【東部巡回展】が開催されます。  
とき：1月27日(水)～31日(日)  
ところ：鳥取県立博物館

文：加藤洋子(理事)



# 十人十色 ご亭めし

営業時間 9:30～18:00  
(L.O17:30)

☎0858-87-3502



11月27日  
用瀬小学校の2年生が「まちたんけん」でご亭めしに来てくれました！  
元気いっぱい質問もたくさんしてくれました。

「ご亭めしの ”ご亭” ってこのあたりの昔の言葉で ”あなた” という意味なんだよ～！」

“十人十色” って  
どんな意味かな～？



ご亭めしでは新型コロナウイルスの影響により、引き続き営業時間を短縮、休業日を増やし、営業を続けています。

文：岸舞





本夜本昼は不定期に開催しています

どなたでも参加出来ます。好きな本、  
お気に入りの本を一冊持ってきて下さい。  
夜に開催は本夜、昼に開催は本昼。読書会。



この通信を読んだ方から【紙芝居】が届いた。  
「アイヌの人たちのたべものやぐらし」、「ぞうのホートンたまごをかえす」。アイヌのほうは、河原さんという方の手作り紙芝居です。私は友人にアイヌの方もあり、アイヌの踊りや文化のイベントを企画したこともあるので、本当に嬉しかった。



そして、ホートンの方は、鳥取本の会時代に、一緒に紙芝居をやっていたtさんからでした。tさんご夫婦作のこの紙芝居を持って20代の頃どれだけ多くの図書館や、保育所に出かけたことでしょう。私たちは毎月毎月「出張お話し会」を開いたのでした。そして、今、tさんの姪のお子さんと一緒に、「紙芝居」や絵本の読み聞かせをしているのです。



## 2020年9月～2021年1月上旬

- |        |                       |
|--------|-----------------------|
| 9月3日   | ホームスタッフ会議             |
| 9月17日  | 作業所スタッフ会議             |
| 9月18日  | 成年後見人さん面談             |
| 9月25日  | ホームメンバーミーティング         |
| 9月27日  | 鹿の子いきいきサロン            |
| 10月1日  | ホームスタッフ会議             |
| 10月14日 | ちゃんちゃんスタッフ会議          |
| 10月14日 | 作業所スタッフ会議             |
| 10月16日 | 成年後見人さん面談             |
| 10月23日 | ホームと1・2・3合同メンバーミーティング |
| 10月25日 | 鹿の子いきいきサロン            |
| 10月28日 | ちゃんちゃん運営推進会議          |
| 10月29日 | ハロウィンパーティ             |





11月5日 ホームスタッフ会議

11月19日 作業所スタッフ会議

11月20日 成年後見人さん面談

11月25日 智頭警察用瀬出張所の巡査さんお話

11月25日 ホームと1・2・3合同メンバーミーティング

11月27日 用瀬小学校2年生来所

11月28日29日 上野千鶴子リモート講演会

12月6日 ちゃんちゃんスタッフ会議 サービス評価

12月10日 ホームスタッフ会議

12月17日 作業所スタッフ会議

12月18日 成年後見人さん面談

12月19日 鹿の子いきいきサロン

12月23日 作業所・ホーム実地指導

12月24日 ちゃんちゃんクリスマス会

12月25日 理事会リモート開催



## ご寄付ありがとうございました

山根宏様、大家弘道様、猪口初恵様（令和2年8月21日～12月末日迄）

編集後記…年末年始の旅行をキャンセルし、シヨンボリ…。息子（5歳）はニコニコ笑顔で工作、お絵描き、ブロック、積木、コマ、けん玉、、、と忙しそう。「できないこと」に囚われているのは大人だけなのではないでしょうか。「笑顔の素」は案外すぐそばに？！

岸 舞